

第5・6学年 複式学級のための年間指導計画（案） 単元配列表 70時間（暫定版）

令和6年度版
光村図書 Here We Go!
20230512作成
内容解説資料

○折衷案

	A年度		B年度	
学期	単元名		単元名	
1学期 23時間		A・B年度共通単元		
		Let's Start (5, 6年共通) ②		
		Hello, everyone. (5年 Unit 1) ⑥		
		This is me. (6年 Unit 1)		
		Alphabet Time 1 (5年)		
		Alphabet Time 2 (5年)		
	Welcome to Japan. (6年 Unit 2) ⑦		When is your birthday? (5年 Unit 2) ⑦	
		Alphabet Time 3 (5年)		
		Alphabet Time 4 (5年)		
	What time do you get up? (6年 Unit 3) ⑦		What subjects do you like? (5年 Unit 3) ⑦	
		Alphabet Time 5 (5年)		
		Alphabet Time 6 (5年)		
世界の友達 1 / You can do it! 1 (6年) ①		世界の友達 1 / You can do it! 1 (5年) ①		
2学期 30時間		A・B年度共通単元		
		My Summer Vacation (6年 Unit 4) ⑤		
		Alphabet Time 7 (5年)		
	We live together. (6年 Unit 5) ⑧		My hero is my brother. (5年 Unit 5) ⑧	
	Alphabet Time 8 (5年)			
	He can run fast. She can do <i>kendama</i> . ⑧ (5年 Unit 4)		Where is the library? (5年 Unit 6) ⑧	
	Alphabet Time 1, 2 (6年)			
	I want to go to Italy. (6年 Unit 6) ⑧		What would you like? (5年 Unit 7) ⑧	
	Alphabet Time 3, 4 (6年)			
	世界の友達 2 / You can do it! 2 (6年) ①		世界の友達 2 / You can do it! 2 (5年) ①	
3学期 17時間		A・B年度共通単元		
		This is my town. (5年 Unit 8) ⑤		
		My Dream (6年 Unit 7) ⑤		
		Alphabet Time 5, 6 (6年)		
		My Best Memory (6年 Unit 8) ⑥		
		Alphabet Time 7, 8 (6年)		
	世界の友達 3 / You can do it! 3 (6年) ①		世界の友達 3 / You can do it! 3 (5年) ①	

複式学級の指導方法 折衷案について

小学校外国語科では、2年間のまとまりで目標や内容が示されているので、複式指導では異学年との同内容の授業を構成することが可能です。しかしながら、教科書改訂年度で、教科書が変わった場合など、前年度の学習内容を配慮して、同じ内容を異学年で扱えるかを十分検証する必要があります。

複式学級での外国語の指導では、同単元指導の中でも折衷案が取り組みやすいと考えます。この指導案では、A・B年度共通で2年間を通してくり返す単元と、A年度かB年度のみで行う単元を、難易度等を考慮して再分配しています。5年生と6年生の児童が、同じ教室で同じ内容を学習することを想定しています。指導の際には、児童の学習経験を考慮し、上位学年の児童と下位学年の児童の到達目標に差をつける等の配慮をご検討ください。なお、各単元の詳しい指導計画内容は、学習指導書の年間指導計画や指導案等をご確認ください。

折衷案は連続した年度で5,6年生が複式学級であることが前提です。複式学級での年間指導計画を検討する際には、前年度の実践状況や次年度の学級構成なども考慮して指導方法を決めてください。また、6年次での転入生には前年度扱った範囲を個別に指導する等、配慮が必要になります。

指導上の留意点

- ・ 単元名の後の○数字は、扱う字数を示しています。前年度の指導内容などを考慮して、扱う時間は各学校で調整してください。
- ・ Alphabet Time は、A・B年度共通で2回繰り返し、じっくり取り組みます。
- ・ 06版でHere We Go! を使い始める6年生に配慮して、A年度は6年生の単元を中心に年間計画を組んでいます。
- ・ A・B年度共通の単元については、2年間で繰り返し扱うため、配当時間が少なくなっています。5年生と6年生で到達目標に差をつけ、発表活動では5年生が聞く側、6年生が話す側というように活動を分けます。
- ・ 言葉について考えよう、英語の物語などの教材はこの表には含まれておりませんが、実態に応じて活動の合間等に行うことを想定しています。
- ・ 折衷案で指導をする場合、各年度で5,6年両方の教科書が必要になります。児童用タブレットにHere We Go! 5, 6の両方の学習者用デジタル教科書がインストールできていると、扱う単元の教科書をすぐに準備できるので、授業をスムーズに運営できます。

第5・6学年 複式学級のための年間指導計画（案） 単元配列表 70時間（暫定版）

令和6年度版
光村図書 Here We Go!
20230512作成

○完全一本案

学期	学年	単元	単元名	時数
1学期 (23時間)	5・6年		Let's Start	①
	5・6年	Unit 1	Hello, everyone. / This	④
	5年		Alphabet Time 1	
	5年	Unit 2	When is your birthday?	④
	5年		Alphabet Time 2	
	5年	Unit 3	What subjects do you li	④
	5年		Alphabet Time 3	
	5年	Unit 4	He can run fast. She ca	④
	5年		Alphabet Time 4	
	6年	Unit 3	What time do you get u	④
	5年		Alphabet Time 5	
	5・6年	まとめ	世界の友達 1 (5, 6年)	②
2学期 (30時間)	6年	Unit 4	My Summer Vacation	④
	5年		Alphabet Time 6	
	5年	Unit 5	My hero is my brother.	③
	5年		Alphabet Time 7	
	5年	Unit 6	Where is the library?	④
	5年		Alphabet Time 8	
	5年	Unit 8	This is my town.	⑨
	6年	Unit 2	Welcome to Japan.	
	6年		Alphabet Time 1, 2	
	5, 6年	まとめ	世界の友達 2 (5, 6年)	①
	5年	Unit 7	What would you like?	④
	6年		Alphabet Time 3, 4	
	6年	Unit 5	We live together.	④
	6年		Alphabet Time 5, 6	
	5, 6年	まとめ	You can do it! 2 (5, 6	①
3学期 (17時間)	6年	Unit 6	I want to go to Italy.	⑤
	6年		Alphabet Time 7	
	6年	Unit 7	My Dream	⑤
	6年		Alphabet Time 8	
	6年	Unit 8	My Best Memory	⑥
	5, 6年	まとめ	世界の友達 3 (5, 6年)	
	5, 6年	まとめ	You can do it! 3 (5, 6年)	①

複式学級の指導方法 完全一本案について

複式学級での完全一本案では、教科書の難易度等を考慮して2学年分の内容を再配分して同単元指導をします。5,6年生の児童が、同じ教室で同じ内容を学習することを想定しています。この計画を2年間くり返すことで、2学年分の学習が完了します。指導の際には、児童の学習経験を考慮し、上位学年の児童と下位学年の児童の到達目標や評価規準に差をつける等の配慮をご検討ください。学習内容を2度塗る重ねることの効果や、扱う単元の学習経験がある6年生が5年生のモデルになる等のメリットがあります。なお、各単元の詳しい指導内容は、学習指導書掲載の年間指導計画や指導案等をご確認ください。

完全一本案の場合、1年間で外国語科の2年分の指導内容をカバーできるため、児童の転出入が多い場合や年度によって複式学級か単式学級かの編成が流動的である場合には、履修漏れを回避することができます。一方で、本来8時間程度で学習する内容を半分の4時間程度で単元を終えるため、指導者、学習者の両方にとって達成度が低い授業になってしまうことも想定されます。2年計画であることを指導者が十分理解し、1年目の到達目標と2年目の到達目標を明確にしておくといいいでしょう。

指導上の留意点

- ・通常8時間配当の単元は、4時間で設定するなどして、おおよそ半分の時間にしています。一巡目の5年生と二巡目の6年生でペアを組む、3学期の発表活動において5年生は聞く活動を中心とするなど指導の工夫をしてください。

- ・5年生と6年生で別々の活動を行う場合は、デジタル教科書収録のアクティビティのサンプル動画を児童のみで視聴させ、やり方を確認の上、自分たちで活動させるなど、指導者が他学年にわたりやすい環境を整えるようにします。

- ・完全一本案はシンプルな構成ですが、児童に何ができて、何ができていないかという学習のレディネスの把握や、1年目と2年目に扱う内容の理解などが指導者に求められるため、2年間を同じ指導者が担当できることが理想です。

- ・各学期のまとめの活動は、5,6年生両方の「Review 学期のまとめ」を1時間配当で扱う計画になっていますが、学習者の実態に応じて最後に扱う単元の時間内で取り上げたり、扱う活動を精選したりするなど、無理なく復習ができる工夫をしてください。

- ・言葉について考えよう、英語の物語などの教材はこの表には含まれておりませんが、実態に応じて活動の合間等に行うことを想定しています。

- ・完全一本案で指導をする場合、各年度で5,6年両方の教科書が必要になります。児童用タブレットにHere We Go! 5,6の両方の学習者用デジタル教科書がインストールできていると、扱う単元の教科書をすぐに準備できるので、授業をスムーズに運営できます。